

「2016年3月期第2四半期決算説明会」主なQ&A

【柏崎刈羽原子力発電所の審査状況について】

Q：柏崎刈羽原子力発電所における新規規制基準適合性審査の状況について教えてください。

A：柏崎刈羽原子力発電所6号機および7号機が本年8月より集中審査の対象となり、審査が加速していますが、審査の終了時期については未定です。

【JERA について】

Q：2015年4月にJERAが設立されましたが、第2四半期決算ではどのような効果が出ているのでしょうか。

A：JERAについては、効率が高くかつ進めやすい分野からアライアンスを進めていくこととしており、①燃料輸送事業、燃料トレーディング事業の統合、②既存燃料事業や既存海外発電・エネルギーインフラ事業の統合、③既存火力発電事業の統合に係る判断の3つのステップによる事業拡大を予定しています。

10月1日に一つ目の燃料輸送事業、燃料トレーディング事業の統合を実施したところであるため、第2四半期決算においてはお伝えできるような効果は出ておりません。今後はJERAの事業活動の展開を通じて、国際競争力のある電力・ガス等のエネルギー供給を安定的に行い、企業価値を向上させてまいります。

【社債について】

Q：新・総合特別事業計画（新・総特）のなかで2016年度中の公募社債市場への復帰を目指していますが、公募社債市場への復帰に向けて自己資本比率の目標はあるのでしょうか。また、発行年限など具体的に決まっていることがあるのでしょうか。

A：自己資本比率に関しては、新・総特のなかで2015年度末に15%程度を達成する目標を掲げており、これを達成すべく取組みを進めているところです。なお、発行額や発行年限など具体的な内容については、現時点で決まっているものではありません。公募社債市場への復帰に向けて、投資家や市場関係者の皆さまのご意見を伺いながら進めてまいりたいと考えております。

以上